

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こども発達 LABO Proリハ 牟佐		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 13日		~ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		~ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業所向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の中で事業所を楽しみにしている児童が多い。個人の特性にあわせた個別療育ができる。 運動療育と机上での学習環境の調整を行うことで集中して取り組む療育が実施できる。	好きな楽しいことの中で楽しいことだけではなく、苦手な要素を取り入れながら、「おもしろい、もっとしたい」と思える成功体験を積み重ね、本人が自主的に取り組めるプログラムを実施している。	遊びや課題の内容を増やす。 職員の研修や経験の機会を増やす。
2	専門的知識のある職員が支援計画に沿った療育を行っている。	個別療育では療育毎に本人に合ったプログラムを作っている。 集団療育では振り返りの時間を設けて共通理解を図っている。 理学療法士・作業療法士、保育士などから家族が必要と思われるアドバイスを行っている。	研修等により専門的な知識を得たり、職員間のミーティング等で利用者に関する特性への共通理解を共有する。
3	家族が送迎時にスタッフと話をすること、療育の場を見学したり、実際参加してもらおう事で、相談やお子さんの特性理解の時間を大切にしている。	保護者や家族が今何に困っているのかをその都度傾聴し保護者や家族に寄り添う時間を設けている。	保護者や家族とお子さんを繋いでいけるように、相談援助の研修等に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の事業所との交流や保護者間の交流が少ないため閉鎖的である	個別療育を実施していくうえで、他の事業所との交流や保護者間の交流についてのニーズを聞き取ることが少ない	保護者評価や事業所用自己評価シートを活用して、保護者間の交流や他の事業所との情報共有などのニーズを広い、次年度に生かしていく。
2	スタッフによって専門知識にばらつきがあり、情報共有の難しさを感じることもある。	日々の療育への時間に追われるため、法人内外での研修に時間を当てるのが難しい。	スケジュールの見直しや業務改善を行い、スタッフ全員が無理なく研修等が受けられるようにする。
3	支援者が同じ人になりやすく、同じプログラムになりやすい。	スケジュールの関係で担当者だけでなく補助の支援者も同じ場合が多い。	スケジュール調整をして普段と異なる支援者を意図的に作る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達 LABO Proリハ 牟佐

公表日 2025年 3月 20日

利用児童数

46

回収数

24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	0	0	とても広いスペースです。少し狭いと感じる	環境的に狭いと感じる部分があれば、改善をしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1	0	1	一対一で教えてくれます。運動の時はもう1人先生もついでくれます。	今後も同様にとり組んでいきます
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2	0	1	ボードがあり今日することの予定を貼ってくれます。通路が狭い	通路の狭さにつきましては、ずれ違いのないように時間の調節をさせていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	0	0	とても綺麗です。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	3	0	0	苦手なことや傾向をよく理解してくれてプログラムを組んでくれていると思います。	今後も同様にとり組んでいきます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2	0	1	思います。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	1	されていると思います。	ありがとうございます。今後も継続してニーズや課題をお聞きしながら作成を致します。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	1	されていると思います。	具体的な内容が設定できるように、今後ともご意見をお願いいたします。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2	0	1	されています。	今後も同様にとり組んでいきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	0	色々なプログラムを組んでくれています。	今後も同様にとり組んでいきます
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	3	6	6	個別のプログラムなのでありません。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0	契約時に詳しく説明してくれました。	今後も同様にとり組んでいきます
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1	0	0	はい。されました。	今後も同様にとり組んでいきます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	5	4	2	参加したことはありませんが茶話会があるようです。	継続して、皆様に参加できる機会を作りたいと思います。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2	0	1	療育後にいつも聞いてくれます。	いつでもお話を聞けるように心がけていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2	2	2	相談するとアドバイスくれます。	相談につきましては、いつでも対応をさせていただきます。お声かけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	3	1	0	いつも否定的な言葉を使わずにアドバイスしてくれていると思います。	今後も同様にとり組んでいきます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	4	8	8	兄弟がいないのでわかりません。	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	4	1	2	いつでも相談してくださいと言ってくれます。	相談につきましては、いつでも対応をさせていただきます。お声かけください。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	1	1	子どもに内容が聞こえないように療育後の振り返りをしてくれます。	同様の対応を今後もさせていただきます。
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	4	1	6	ホームページなどでされていると思います。	今後もブログなどで、療育の様子はお伝えしていきたいと思っています。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	1	思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	5	3	5	AEDのイベントの案内がありましたのでされていると思います。	マニュアル等の掲示につきまして、お知らせをさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	4	12		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3	0	3	思います。	今後も同様にとり組んでいきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	1	11	怪我をしたことはありませんがしてくれると思います。	怪我などのあった場合は、速やかに対処させていただきます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0	行き渋りなく通えています。	今後も楽しく通っていただけるようにしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3	0	1	とても楽しみにしています。遠いから	ありがとうございます。これからも「楽しい」と思える場所になるように心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	1	先生たちが親切でとても助かっています。毎回その日の評価をお話くださるので、目的がわかりやすくこちらでも理解しやすい。	ありがとうございます。今後も継続してお話をさせていただきます様々に致します。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達 LABO Proリハ 牟佐	公表日 2025 年 3月 24 日
------	---------------------	--------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	4	2	集団療育で人数が多い際は、迎え時間の調整や、安全に気を配りカバーしている。児に合わせて環境整備をしている	机上の部屋が狭い
	2	6	0	職員の休みの調整などを譲り合って工夫している	
	3	3	3	バリアフリーではないが、児に合わせて環境整備をしている	収納が少ない為に子供の目につきやすい 収納が少ない
	4	6	0	整頓をし、配慮ができています	
	5	6	0	臨機応変に対応している	
業務改善	6	6	0	情報共有をしている	
	7	6	0	情報共有をしている	
	8	2	4		情報共有をしているが、反映されていないこともある。ミーティングもなく、質問した事に関して返答が曖昧な事が多い。
	9	1	5		
	10	2	4		一部での研修で、アプローチをしないと行われないことが多い。研修時間を確保する事が難しい事がある研修してもらえ人に偏りあり。保育士に必要とされているもの、かけているものを教えて欲しい
適切な支援の提供	11	6	0		
	12	6	0		
	13	6	0	常に児の状態を把握し、プログラム作成時には情報交換をしている	
	14	6	0		
	15	6	0		
	16	6	0		
	17	4	2		立案しても、一部職員は全く聞いていない
	18	6	0	タイムリーな話題などを取り入れている	
	19	6	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		できている時と、できていない時がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		時間に追われることが多く、日は跨ぐことはあるが、次に繋げる話す機会は設けている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		担当していない児のカルテも確認し、申し送りもしている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		保護者との話を密にしている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		園などを訪問し、情報共有を積極的に行なっている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		積極的に園などと情報交換をし、就学がスムーズにいくように心がけている
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		地域の人や、施設などにも何う機会を設けている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		保護者の困り感、児の状態を把握するようにしている
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		親の会の講演会や講座への参加などの情報提供をしている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		専門用語などは使わず、噛み砕いて話をしている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		保護者に納得してもらえるようにしっかり話をしてから作成している
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		フランクに接することで、なかなか言えなかったことも聞くことができ、答えることができないことは、知識のある職員が対応している
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		施設内でも保護者会を開催したり、親の会なども紹介している
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		相談があったその日のうちに対応している

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	積極的に活用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	以前保護者から個人情報が見えることがあるとの指摘から、シフトかやカルテの置き場所を工夫している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域の方々との交流を図り、事業所を知ってもらう機会を設けている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	災害の際の対応も地域の方々と話している。感染に関しては、マニュアルに準じ訓練をおこなっている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	災害の際の対応も地域の方々と話している。感染に関しては、マニュアルに準じ訓練をおこなっている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5	カルテを熟読するようにしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	カルテを熟読するようにしている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリがあった際には、朝礼で話し改善をしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修動画をみている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	定期的に研修動画をみている	